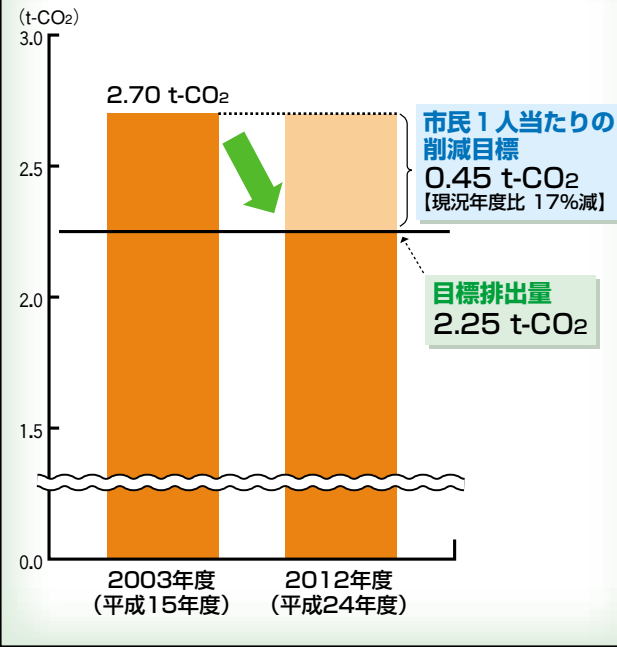


市民1人当たりの温室効果ガスの排出量



地球温暖化の防止のためには、市民一人ひとりが、日常生活の各場面でも、地球温暖化防止に配慮した行動を実践することが不可欠です。市では、脱温暖化社会を実現するため、「資源やエネルギーを大切にしたり、二酸化炭素の排出が少ないまち」を目指したまちづくりを進めます。



講演会

～地球温暖化の影響と私たちの暮らし～

より多くの皆さんに計画の内容を知っていただき、脱温暖化社会の実現に向けた取り組みを推進するため、講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

▽日時 2月17日(土)午後1時30分～3時30分(午後1時開場)。

▽会場 市文化会館小ホール(明保野町)。

▽内容 異常気象と地球温暖化の関係について、岩谷忠幸さんによる講演。

▽定員 先着500人。定員に満たない場合は、当日も受け付けます。

▽申込 ファクスまたはEメール(氏名・電話番号・ファクス番号を明記)で、環境政策課☎(632)5426、✉0715@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。ファクス・Eメールでの申し込みができない場合は、電話で環境政策課☎(632)2418へ。

▽その他 会場周辺の駐車場は、当日込み合うことが予想されます。できるだけ公共交通機関をご利用になるか、自動車の場合は乗り合いでお越しください。



講師

岩谷 忠幸 さん

気象予報士・防災士。NPO法人気象キャスターネットワーク理事。現在、気象キャスターとして、テレビで活躍中。

削減目標

2012(平成24)年度における温室効果ガス排出量を、2003(平成15)年度に比

計画素案の概要

「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を進めています。計画の素案ができましたので、お知らせします。

取り組み

目標達成のための

市民1人当たり17%の温室効果ガス削減のためには、省エネルギー・省資源につながる環境にやさしい行動を実践し、環境負荷の少ないライフスタイルに取り組むことが大切です。

削減目標

例えば、エアコンの温度設定を見直したり、不要な照明を消したり、駐車中の自動車のアイドリングをやめたりす

べて、市民1人または1事業者当たりでそれぞれ17%削減することを目指す予定です。温室効果ガス総排出量として、基準年度(平成2年度)比0.5%の削減を目指します。

また、住宅用太陽光発電システムを設置したり、ハイブリッド車などの低公害車や、省エネルギー型の家電製品の購入に努めたりするなど、環境に配慮した製品を積極的に選ぶようにしてみてください。

市には、手軽に温暖化防止の取り組みができる「家庭版環境ISO認定制度」があります。その取り組みを紹介した家庭版環境ISOハンドブックは、各地区市民センター・出張所、環境政策課(市役所6階)などに置いてありますのでご利用ください。

市では、地域レベルでの地球温暖化防止のための取り組みを総合的・計画的に進めるとともに、市民・事業者・行政の各主体が役割を分担し、総力を挙げて長期にわたって継続的に対策に取り組んでいくため、「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を進めています。計画の素案ができましたので、お知らせ

るといった、誰でも、簡単にできる、温暖化防止に取り組んでみませんか。

市では、地域レベルでの地球温暖化防止のための取り組みを総合的・計画的に進めるとともに、市民・事業者・行政の各主体が役割を分担し、総力を挙げて長期にわたって継続的に対策に取り組んでいくため、「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を進めています。計画の素案ができましたので、お知らせ

市では、地域レベルでの地球温暖化防止のための取り組みを総合的・計画的に進めるとともに、市民・事業者・行政の各主体が役割を分担し、総力を挙げて長期にわたって継続的に対策に取り組んでいくため、「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を進めています。計画の素案ができましたので、お知らせ